

第2学年1組 生活科 学習指導案

実施期間 令和〇年〇～〇月
指導者 〇〇 〇〇

1 単元の構想

とび出せ！ 町の たんけんたい (内容(3)(4)(8))

子どもの姿	<p>「自分のまち」がさらに大好きになり、新しく目にしたのや聞いたことを他者と話題にする機会が増えている。</p> <p>また、自ら地域の場所や人との関係を深めたり実感したりする体験を積み重ねるようになり、地域の中での生活をより楽しくしようとしている。</p>			
	<p>知識及び技能の基礎 思考力、判断力、表現力等の基礎 学びに向かう力、人間性等</p>			
単元の目標	<p>地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、(活動)地域の場所と自分との関わりを見つけ、(思考力、判断力、表現力等の基礎)地域にはさまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付くとともに、(知識及び技能の基礎)地域の場所や人に親しみをもち、適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようすることができるようにする。(学びに向かう力、人間性等)</p>			
目標に向かうための手立て	<p>○「3つのポイント」×「子どもが主体のICT」</p> <p>【めあて】 自分の生活とのつながりを考える中で、地域の「場所と場所」、「場所と人」、「人と人」との関係性についての疑問や、他者との思いの違いに焦点を当てることで問いを生み出し、めあてを設定していく。</p> <p>【振り返り】 どのように人と接したのか、どんな場所を見たのか、どんな体験したのか、また、そのことからどのような新たな活動や思いを生み出したのか等、これらを振り返ることができるよう、授業支援アプリを有効活用し、写真や動画で記録したり振り返った内容を残したりしていく。</p> <p>【対話】 地域の場所や人について、疑問に思った理由、経験の想起・探検時の体験等について、他者との思いや考えのずれを明らかにすることで、対話が生まれるようにする。対話の際には、タブレットに集めた写真や動画を根拠として活用する。2学期の「もっと知りたい たんけんたい」での活動も見通しながら、対話と体験(探検)のサイクルの過程を創る。</p>			
子どもの実態30人	<table border="1"> <tr> <td> <p>①地域に知らない場所があることは分かっているが、多様な人々が生活していることには意識が向いていない。</p> <p>②1年時に学校を探検した経験はあるが、校外の探検は初めてなので、ルールやマナーの確認が必要である。</p> <p>③身近な地域や人との関わりは、自分の生活経験の中だけのもので、それを広げる場や手段をあまり持たない。</p> </td> <td> <p>①探検に行くことへの意欲は高いが、行きたい場所や会ってみたい人への思いを持つには至っていない。</p> <p>②これまでの生活経験の中では、身近な地域や人と、限定的・単発的に関わっていることが多く、その限定的・単発的な関わりの中での思いや願いをもっているに過ぎない。</p> </td> <td> <p>①自分の思いだけでなく、友達の思いも考えながら物事を調整できるようになりつつある。</p> <p>②家族や地域の人たちに守られて生活しながらも、それが自覚できていない場合が多く、自ら関わりを深めたり活動を広げたりすることがなかなかできていない。</p> </td> </tr> </table>	<p>①地域に知らない場所があることは分かっているが、多様な人々が生活していることには意識が向いていない。</p> <p>②1年時に学校を探検した経験はあるが、校外の探検は初めてなので、ルールやマナーの確認が必要である。</p> <p>③身近な地域や人との関わりは、自分の生活経験の中だけのもので、それを広げる場や手段をあまり持たない。</p>	<p>①探検に行くことへの意欲は高いが、行きたい場所や会ってみたい人への思いを持つには至っていない。</p> <p>②これまでの生活経験の中では、身近な地域や人と、限定的・単発的に関わっていることが多く、その限定的・単発的な関わりの中での思いや願いをもっているに過ぎない。</p>	<p>①自分の思いだけでなく、友達の思いも考えながら物事を調整できるようになりつつある。</p> <p>②家族や地域の人たちに守られて生活しながらも、それが自覚できていない場合が多く、自ら関わりを深めたり活動を広げたりすることがなかなかできていない。</p>
<p>①地域に知らない場所があることは分かっているが、多様な人々が生活していることには意識が向いていない。</p> <p>②1年時に学校を探検した経験はあるが、校外の探検は初めてなので、ルールやマナーの確認が必要である。</p> <p>③身近な地域や人との関わりは、自分の生活経験の中だけのもので、それを広げる場や手段をあまり持たない。</p>	<p>①探検に行くことへの意欲は高いが、行きたい場所や会ってみたい人への思いを持つには至っていない。</p> <p>②これまでの生活経験の中では、身近な地域や人と、限定的・単発的に関わっていることが多く、その限定的・単発的な関わりの中での思いや願いをもっているに過ぎない。</p>	<p>①自分の思いだけでなく、友達の思いも考えながら物事を調整できるようになりつつある。</p> <p>②家族や地域の人たちに守られて生活しながらも、それが自覚できていない場合が多く、自ら関わりを深めたり活動を広げたりすることがなかなかできていない。</p>		

単元の評価規準		
知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
<p>①地域には、知らない場所があることや多様な人々が生活していることが分かっている。</p> <p>②探検の順序や戻る時刻、気を付けるルールやマナーについて、確認しながら探検に出かけている。</p> <p>③地域で生活している人々やさまざまな場所が、自分たちの生活を支え楽しくしていることに気付いている。</p>	<p>①行きたい場所や会ってみたい人、してみたいことを思い描きながら、計画を立てている。</p> <p>②見つけた物や場所について、自分の生活と結び付けながら、気になったことや分からないことを、友達や地域の人と話したり質問したりしている。</p>	<p>①友達や自分の行きたい場所や決まった時刻に応じて、探検する場所を調整したり順番を変えたりしようとしている。</p> <p>②身近な地域には自分の生活を楽しんでくれる場所があることを実感し、それらを自分の生活に取り入れようとしている。</p>

指導と評価の計画（10時間取り扱い ●本時9/10）

課題等	次	時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
地域の場所や人々は、自分の生活とどう関わっているのか考えよう。	1	1	○地域で、自分のお気に入りの場所や興味のある場所、不思議に思っている場所などについて話し合う。	【知】 ①発言、観察、作品
	2	3	○探検先ごとのグループをつくる。 ○グループごとに探検の計画を立て、探検する順番や通る道等を計画表に記入する。 ○探検の計画や探検のルール・マナーを確認し、探検に出かける準備をする。	【思】 ①発言、観察、作品 【主】 ①発言、観察
	3	3	○グループごとに探検に行く。	【知】 ②発言、観察 【思】 ②発言、観察
	4	3	○グループ内で、探検で気付いたこと等を伝え合う。 ●一番伝えたいことを付箋にかき、絵地図に貼りながらグループ相互に伝え合う。 ○発表で紹介された地域の人や場所を確かめながら、活動を振り返る。	【知】 ③発言、観察 【主】 ②発言、作品

2 本時の授業計画

(1) 本時の目標

探検で見付けたことについてグループ相互に交流する活動を通して、分からなかったことや疑問に思っていたこと等を解決し、自分の生活との関わりの広がり考えることができる。

(2) 展開

過程	時間	学習活動	○主な発問・指示 ・予想される子どもの反応	○教師の支援 ◎評価	備考・ICT 機器等
導入	5	1 本時の課題（めあて）をつかむ。	○前の時間は、グループで気づきを伝え合いましたね。 ・Aグループの人たちに尋ねて確かめたいことがあるんだよね。	○前時の活動を振り返ることで、本時のめあてを引き出す。	
			たんけんで 見つけたことを つたえあおう		
展開	33	2 グループごとに発表し、疑問に思っていたこと等について話し合う。	・バス停のすぐ近くに大きな自転車置き場があったよ。 ・仕事に行く人が、朝、置いて、バスに乗るのを見たよ。 ・便利だね。でも、置き方のルールを守らない人がいて、困っている人もいるよ。	○場所と場所、場所と人、人と人との関係を板書していくことで、自分との関わりを考えやすいようにする。 ○絵地図の他に、タブレット端末に保存している写真や動画を相互に提示することで、根拠が明確になるようにする。	電子黒板 タブレット端末
		3 話し合ったことから、自分と地域の場所・人との関わりがどう広がったのか、考える。	○自分と地域の場所・人との関わりで、新しく考えたことはありますか？ ・自分の安全も大切だけど、自転車が置いてあって歩道が危険になっているなど、地域みんなの安全について、もっと知りたくなったなあ。	◎ 【主】 ② 地域に対する自分の関わりの広がりを考えている。	
終末	7	4 本時の学習を振り返る。	・今日の授業に出てきた自転車置き場が、家の近くのコンビニにもあるなあ。危険じゃないか、家の人と確認しに行こう。	○次にやりたいことという視点を提示し、振り返ることができるようにする。	授業支援アプリ

生活

ポイント

単元(題材)終了後の児童の姿

本単元での学習を生かした、子どもたちの日常(将来)の姿を具体的に書く。

1 単元(題材)の構想とび出せ! 町のたんけんたい

「自分のまち」がさらに大好きになり、新しく目にしたものや聞いたことを他者と話題にする機会が増えている。 また、自ら地域の場所や人との関係を深めたり実感したりする体験を積み重ねるようになり、地域の生活や文化をより身近に感じている。
〔知識及び技能の基礎〕 地域のさまざまな場所を訪問したり利用したりする活動を通して、(活動) 地域の場所と自分との関わりを見つけ、(思考力、判断力、表現力等の基礎) 地域にはさまざまな場所があり、さまざまな人がいることに気付くとともに、(知識及び技能の基礎) 地域の場所や人に親しみをもち、適切に接したり、安全に気を付けて生活したりしようことができるようになる。(学びに向かう力、人間性等)

ポイント

単元の目標

「活動」「思考力、判断力、表現力等の基礎」「知識及び技能の基礎」「学びに向かう力、人間性等」の順に1文にし、大括りな目標を書く。

①地域に知らない場所があることや多様な人々が生活していることが分かっていない。 ②1年時に学校を探検した経験はあるが、校外の探検は初めてなので、ルールやマナーの確認が必要である。 ③身近な地域や人との関わりは、自分の生活経験の中だけのもので、それを広げる場や手段があまり持たない。	①探検に行くことへの意欲は高いが、行きたい場所や会ってみたい人への思いを持つに至っていない。 ②これまでの生活経験の中では、身近な地域や人と、限定的・単発的に関わっていることが多く、その限定的・単発的な関わりの中での思いや願いをもっているに過ぎない。	①自分の思いだけでなく、友達の思いも考えながら物事を調整できるようになりつつある。 ②家族や地域の人たちに守られて生活しながらも、それが自覚できていない場合が多く、自ら関わりを深めたり活動を広げたりすることがなかなかできていない。
--	--	--

知識・技能	思考・判断・表現	主体的に学習に取り組む態度
①地域には、知らない場所があることや多様な人々が生活していることが分かっていない。 ②探検の順序や戻る時刻、気を付けるルールやマナーについて、確認しながら探検に出かけている。 ③地域で生活している人々や様々な場所が、自分たちの生活を支え素直にしていることに気付いている。	①行きたい場所や会ってみたい人、してみたいことを思い描きながら、計画を立てている。 ②見つけた物や場所について、自分の生活と結び付けながら、気になったことや分からないことを、友達や地域の人と話したり質問したりしている。	①友達や自分の行きたい場所や決まった時刻に応じて、探検する場所を調整したり順番を変えたりしようとしている。 ②身近な地域には自分の生活を楽しくしてくれる場所があることを実感し、それらを自分の生活に取り入れようとしている。

ポイント

単元(題材)の評価規準(「単元(題材)の目標」と呼応させる)

- ・単元の目標の内容を、学習活動のどの場面で評価するのかを考え、具体的な子どもの姿で書く。
- ・文末は「...している」にする。

ポイント

児童の実態(「単元(題材)の評価規準」と呼応させる)

単元の目標とする姿(評価規準)と照らし合わせて、子どもたちはどんな実態なのかを書く。

時	主たる学習活動	評価する内容と方法等
1	○地域で、自分のお気に入りの場所や興味のある場所、不思議に思っている場所などについて話し合う。	〔知〕の発言、観察、作品
3	○探検先ごとのグループをつくる。 ○グループごとに探検の計画を立て、探検する順番や通る道等を計画表に記入する。 ○探検の計画や探検のルール・マナーを確認し、探検に出かける準備をする。	〔思〕の発言、観察、作品
3	○グループごとに探検に行く。	〔知〕の発言、観察、作品
4	○グループ内で、探検で気付いたこと等を伝え合う。 ●一番伝えたいことを付箋にかき、絵地図に貼りながらグループ相互に伝え合う。 ○発表で紹介された地域の人や場所を確かめながら、活動を振り返る。	〔知〕の発言、観察、作品 〔思〕の発言、観察、作品

主たる学習活動
子どもたちの思考の流れを予想して、単元を構想する。

ポイント

単元(題材)の目標	児童の実態
①地域には、知らない場所があることや多様な人々が生活していることが分かっていない。 ②探検の順序や戻る時刻、気を付けるルールやマナーについて、確認しながら探検に出かけている。 ③地域で生活している人々や様々な場所が、自分たちの生活を支え素直にしていることに気付いている。	○場所と場所、場所と人、人と人との関係を振り返っていくことで、自分との関わりを考えやすいようにする。 ○絵地図の他に、タブレット端末に保存している写真や動画を相互に提示することで、根拠が明確になる。